



南東北 ふくしま

令和7年11月1日 Vol.177

[発行] 南東北福島病院・リハビリ南東北福島
〒960-2102福島市荒井北三丁目1-13/TEL024-593-5100

飯坂温泉から始まった日本のリウマチ診療 (後編)



整形外科 佐藤 弘 一郎

佐藤先生「リハビリテーションという、福島県ゆかりの人としてもう一人大事な人がいますね。」

一郎君「福島県ゆかりのお医者さんって言ったって野口英世くらいしか僕は知らないよ。」

弘子さん「リハビリテーションだから、脳神経が専門の先生かしら。」

佐藤先生「良い勘をしていますね。三浦謙之介先生と言ってね、日本神経学会の設立にかかわっています。伊達郡高成田村の生まれでね、今は伊達市になりましたが、福島市の岡部の近くです。」

一郎君「福島市の岡部ってあのちぢり観音で有名な？」

弘子さん「みちのくのしのぶもちぢりだれゆえにみだれそめにし われならなくに ってね。」

佐藤先生「三浦先生の回想録が残っていてね、その中に「福島町の約二里隔たつたところ、阿武隈川という大きな川を渡って山を一つ越えねばなりません。山まで行く途中に文

知摺観音様があります。そこを通り過ぎて細い山道を登って、反対側へ下ると私の生まれた村になります。」と書いてあります。

一郎君「それで、その三浦先生とリハビリテーションとどんな関係があるの？」

佐藤先生「三浦先生は内科医なんですけど、特に神経内科を勉強されたんです。フランスの有名な神経内科医 シヤルコーに学んだのです。お医者さんでシヤルコーの名前を知らない人はいないでしょう。そして、その神経難病を何とか治療したいと考えたのでしょう。回想録の中に困難文章が残っています。」

「ラジウムが発見されて、あれを医療につかったのは日本で、やはり私が初めてです。田中館愛橋さんが初めてラジウムを日本に持って来た。その時は安うございましてね。・・・私が0.025グラム、つまり25ミリグラム詠えた。それが125円だった。」

とか、「時計台のほうに水治療法の予算をこしらえて貰って、離れた小さい部屋で水治療法を始めました。それは種々な方法で水をかけるのと、坐浴・熱気浴等で、欧米に盛んな水治療法というのを初めて日本でやったのです。

それが後になって理学療法として真鍋君がやったのです。一番初めに水治療法の場所を大学にこしらえたのは私です。」

弘子さん「真鍋先生が、日本で初めてラジウム治療とかリハビリテーション治療とかを導入したお医者さんかと思っていたけれど、三浦先生の方が早かったんですね。」

一郎君「福島県ゆかりの人たちがこんなに頑張ってくれていたなんてちつとも知らなかったよ。僕も社会の役に立つ仕事をするぞ。」

保原中央交流館に建立された胸像より

三浦謙之助博士は元治元年三月二十一日保原町高成田に生まれる。明治十年十四才にして上京し東京帝国大学医学科に入学す。卒業後欧米各国に留学帰国後同校の教授となり同二十八年に医学博士の学位を受く。次いで同三十九年勅命により帝国学士院会員仰せ付けらる。大正七年二月帝大医学部附属病院長となり同九年九月勲一等に叙せらる。明治天皇並びに大正天皇御不豫の際特に拝診仰せつけられたり今上天皇皇太子当時外遊の折随行渡欧す。大正十三年定年教授を辞す。続いて名誉教授に推さ

れ同十四年日本内科学会理事長に選ばれる。昭和四年東京同愛記念病院長に就任。同二十四年第一回文化勲章を授けらる。翌二十五年十月十一日八十七歳にて長逝す。特旨を以て従二位に叙せらる。

我らは郷土の生んだ医聖の学徳を永遠に讃えんがためにこの像を建立したものである。

昭和四十四年十一月三日
三浦謙之助博士顕彰協賛会
保原町文化財保存会



保原中央交流館にて

三浦 謙之助

(2 ページ目へつづく)

今月のなかみ

- ▼2面〓看護部より、リハビリテーション科より
- ▼3面〓薬剤科、栄養ひとロメモ「サツマイモ」
- ▼4面〓ゆきうさぎ通信、今月のレシピ「豚肉と白菜のごま豆乳スープ」

(1ページ目から続く)
【引用文献・参考文献】

小酒井光次、「放射線中心時代」、『洪水以降』第12巻第5号、19、1916

斎藤康雄、飯坂の歴史を辿る「シリーズ第3回」ラジウムと飯坂温泉」飯坂ロータリークラブ週報、第35回(27200回目)例会報告、2014.3.20.

田中清介、日本におけるリウマチの学会の歴史と展望、臨床リウマチ、18:1~12、2006
博士の肖像

<https://umdb.um.u-tokyo.ac.jp/DPastExh/Publish-db/1998Portrait/03/03200.html#093>

大島良雄、故三沢敬義博士を偲んで、アレルギー、21(1)67~68、1972

林栄子、近代医学の先覚者 三浦謙之介の素顔、郷土の香り第三十九集、5~16、2006
茂田士郎、福島県ゆかりの医人達、福島医学雑誌60巻2号、81~82、2010



当院の運転支援の取り組み

リハビリテーション科より

近年、アクセルとブレーキの踏み間違えや逆走等のニュースを聞く機会が増えています。当院でも「退院後運転して大丈夫か」というご相談が多く聞かれます。福島市は交通の便が良いとは言えず、運転は欠かせない方も多いためです。

当院では、脳卒中や骨折等で入院された方や、高齢、認知症などにより運転再開に不安がある方に対し退院後まで支援を行っています。手足の動きにくさ、注意力の低下など、一人一人で症状は異なります。リハビリテーション科では、身体や認知機能などの評価や停止車両での評価を行い、その人に合わせたリハビリメニューを実施します。当院は市内の教習所2ヶ所と連携しており、必要があれば教官同乗



実車評価の様子

のもと安全に運転できるか確認(実車評価)を行っています。運転の可否は免許センターで行っており、手続きの流れについて情報提供を行っています。高齢でも、病気で入院しても、できるならば運転は続けたい。という方は多いと思います。リハビリテーション科または医療相談課へ、ぜひご相談ください。

(リハビリテーション科 作業療法士鈴木千聖)

回復期リハビリテーション病棟のご紹介

看護部より

回復期リハビリテーション病棟では患者さんの社会復帰に向け他職種でチームとなり業務を行っています。リハビリという身体機能のリハビリを思い浮かべる方も多いと思います。テレビなどやメディアでは松葉杖や平行棒などで汗を流しながら歩行練習する様子などが散見されます。

病院で行っているリハビリは、身体機能はもちろん、料理や洗濯、掃除などの家事や排泄、入浴動作などの日常生活動作。社会復帰に向けた車の運転支援評価など、退院後に必要なスキルを獲得出来るよう各専門職がケアを行っています。

入院生活の中で獲得が難しいスキルに『参加』があります。これは、患者さんが社会復帰するうえでなくてはならない人と人の繋がりが、地域や社会の中に自分の居場所を作ることです。リハビリは個人個人で実施するもので、個人間の繋が

りという点が乏しくなってきました。そのため、当科では集団でのレクレーション活動をしています。カルタなど少人数で行えることや運動会など病棟全体で行う行事もあります。集団での活動に参加することで、楽しみながらリハビリを行いその中で人と人の繋がりを作ることが出来ます。

また、新年会などの季節の行事も取り入れていきます。回復期10か条に基づき、1日の生活リズムを整えることはもちろんですが、季節行事を行うことで1年のリズムを感じてもらうことも社会復帰するうえで重要なことであると私たちは考えています。

当院自慢の美女による巫女の仮装も患者さん達には大変好評です。私たち回復期リハビリテーション病棟職員は患者さんと一緒に楽しみながら日々の仕事を行っています。

(看護部 看護師 折笠春奈)

栄養ひとくちメモ

サイツマイモ (薩摩芋/さつまいも) はヒルガオ科の植物の肥大した根の部分で、甘藷(かんしょ)とも呼ばれ、原産地は中米ですが、今では世界中の生産の約9割がアジアで作られています。芋づると呼ばれるサイツマイモの葉

【サイツマイモ】

が付く茎の部分も食べられます。皮をむく手間がかかることもあり、大部分は家畜の飼料や肥料にされているようですが、調理によってはシャキシャキした歯ざわりがあり美味しい食材です。サイツマイモに含まれる栄養成分は主に、ビタミンCや食物繊維、カリウム、ビタミンEとなっています。生のサイツマイモを切ると断面から白いミルク状の液体が滲みだしてきま

ますが、これはヤラピンという成分です。古くから緩下剤としての効能があることと知られており、便通改善に役立ちます。焼き芋だけではなく、煮物や揚げ物、ポタージュやスイーツ等、色々な食べ方を楽しめるサイツマイモをぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか。(参考:旬の食材百貨)

(栄養管理課 管理栄養士 高野夏美)

薬剤科より

お薬を飲むとき、皆さんは何で飲んでいますか?

もしかしたら、コーヒーやお茶、ジュースなど日常的な飲み物で流し込むこともあるかもしれません。けれども、お薬を確実に効かせ、安全に服用するためには「水」や「白湯」で飲むことが基本です。

昔は「鉄剤をお茶で飲むと吸収が悪くなる」という話がよく知られていました。これは、緑茶や紅茶、コーヒーに含まれるタンニンという成分が

鉄と結合し、体に吸収されにくくなるためと言われています。ただし、実際に鉄剤で治療をされた患者さんでは、お茶で鉄剤を服用した場合とそうでない場合で、治療の効果が示されています。しかしながら、「飲み物と薬の相性」に注意が必要なものは今も変わりません。

一部の薬においては、製薬会社が独自の試験を行い、味噌汁や麦茶、スポーツドリンクと混ぜ合わせても問題なく、コーヒーや緑茶、ぶどうジュースと混ぜあわせると成分含量が低下して効果が弱くなることがわかってい

ます。また小児用の抗菌薬などでは、飲み物によっては薬の味が変わり、かえって飲みづらくなる場合もあります。見た目はただの液体でも、成分の違いが薬の働きを左右してしまうのです。やはり、お薬は余計な成分の含まない「水」または「白湯」で飲むのが最も安全で確実と言えます。

ただ、お薬の飲ませづらさや飲みづらさを感じた時は、独りで悩まずに薬剤師をはじめとした医療従事者に相談してみてください。解決の糸口が見つかるかもしれません。

(薬剤科 薬剤師 柳沼歩)





秋風が心地よい季節となる9月15日、リハビリ南東北福島では笑顔あふれる敬老会を開催いたしました。長年にわたり社会を支えてこられたご利用者様に感謝の気持ちを込めて準備を進めてまいりました。当日はスタッフから感謝のメッセージを添えたプレゼントと長寿祝いの賞状をお渡ししました。また、敬老の日に関するクイズを出題し、その答えに驚かれるご利用者様の表情が印象に残っております。

涙ぐんで喜ばれる方や、照れながらも満面の笑みを見せてくださる方など、会場は感動的なひとときとなりました。ご利用者様の「ありがとう」という言葉が、私たちスタッフ

敬老会

ゆきつらうさぎ通信



発行
リハビリ南東北福島



フにとっても最高の喜びとなります。今後ともご利用者の皆様が穏やかで健やかに毎日をお過ごしただけのよう、スタッフ一同努めてまいります。

介護福祉士 京極 亮太



今月のレシピ

豚肉と白菜のごま豆乳スープ



豆乳とごまが入りクリーミーな仕上がりに★
具沢山で
食べ応え抜群です。



作り方

- ①豚肉は3cmの長さに切る。白菜は細切りにする。しいたけは薄切りにする。
- ②鍋にごま油を中火で熱して豚肉を炒める。火が通ったら白菜、しいたけ、Aを加え、たまに混ぜながら5分煮る。
- ③豆乳とすりごまを加え、沸騰直前まで温める。器に盛り、お好みでラー油をかける。

効用

白菜には**イソチオシアネート**が含まれており、免疫力を高めてくれたり抗がん作用が期待できると言われています。

材料(2人分)

- ・豚バラ薄切り肉 ……100g
- ・白菜 ……150g
- ・しいたけ ……2枚
- ・ごま油 ……小1
- ・無調整豆乳 ……150ml
- ・すりごま ……大1
- ・ラー油 (お好みで) ……適量

- A**
- ・水 ……200ml
 - ・味噌 ……大1
 - ・鶏ガラスープの素 ……小1

南東北 ふくしま vol.177

発行日 令和7年11月1日
発行 (一財)南東北福島病院
リハビリ南東北福島
住所 〒960-2102
福島市荒井北三丁目1-13
☎024-593-5100
印刷 石井電算印刷株式会社

リハビリ南東北福島 栄養管理課